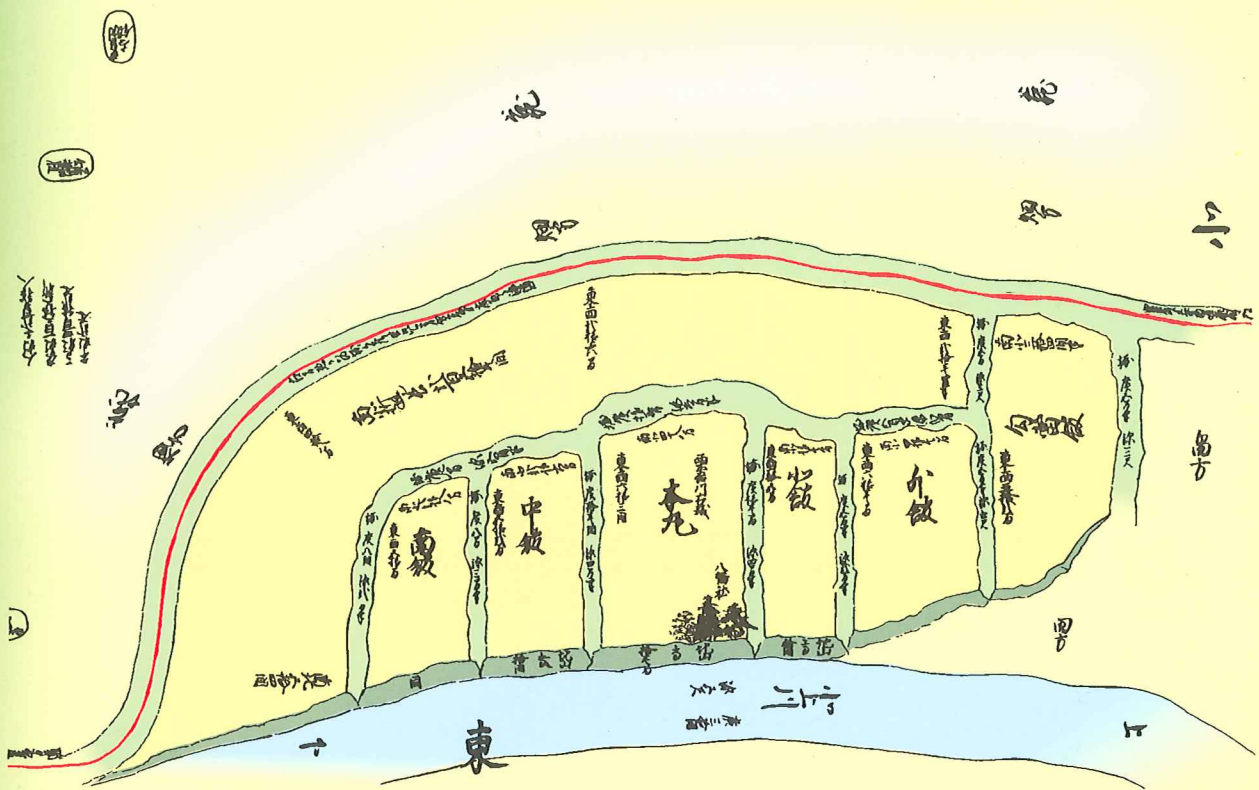


— 安倍氏城柵伝承地と戦国期城館跡 —

# 安倍館遺跡

盛岡市安倍館町・上堂一丁目



寛文八年奥州之内岩手郡栗谷川古城図 (原本 盛岡市中央公民館蔵)

この絵図は寛文8年(1668)、盛岡藩から徳川幕府に提出された栗谷川古城図の控えです。厨川城は天正20年(1592)に取り壊され、絵図の画かれた当時は城跡になっておりました。図中には城内の広さや空堀の大きさ、崖の高さ、北上川の深さや川幅などが記されています。

2007年3月

盛岡市遺跡の学び館

## 安倍館遺跡と厨川城跡

安倍館遺跡（厨川城跡）は古くから、11世紀の安倍氏の厨川柵跡または姫戸柵跡として、また、中世工藤氏の居城跡として伝えられてきました。しかし安倍氏の柵跡については、今のところ不明のままです。

文治5年（1189）源頼朝は平泉の藤原氏を滅ぼし、御家人の工藤行光を岩手郡の地頭としました（『吾妻鑑』）。やがて岩手郡の地頭は北条氏へと代わりますが、工藤氏は厨川の地に存続したと伝えられています。

室町時代には、斯波郡（紫波郡）高水寺には斯波氏、岩手郡東部から斯波郡の東部にかけては河村氏一族、岩手郡不來方には福士氏、雫石に戸沢氏が居りました。斯波氏は足利氏の一門で、奥州探題大崎氏とともに陸奥北部の重鎮でしたが、糠部（岩手県北部から青森県東部）を中心とした南部氏の勢力が次第に大きくなり

ます。室町時代の工藤氏は雫石川に面した里館遺跡（厨川館：天昌寺町）を拠点にしていますが、戦国時代に入り、より堅固で大きな城が必要となったため、新たに厨川城（安倍館遺跡）が築られました。この城は天正20年（1592）に取こわされるまで、不來方城（盛岡市）、雫石城（雫石町）とともに、岩手郡の拠点的な城のひとつでした。

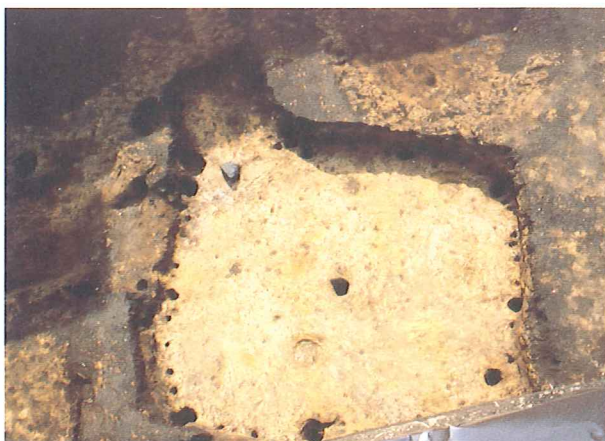
厨川城は北上川に面した段丘を利用して築られています。南から南館、中館、本丸、北館、外館、勾当館が並び、西側には帯曲輪がめぐります。各館（曲輪）の周囲は、深い空堀で囲まれています。発掘調査の結果、堀跡や掘立柱建物跡、竪穴建物跡など、厨川城を構成する遺構が確認され、出土した陶磁器の年代から、16世紀を中心とする城跡であることがわかりました。



本丸北側に残る空堀



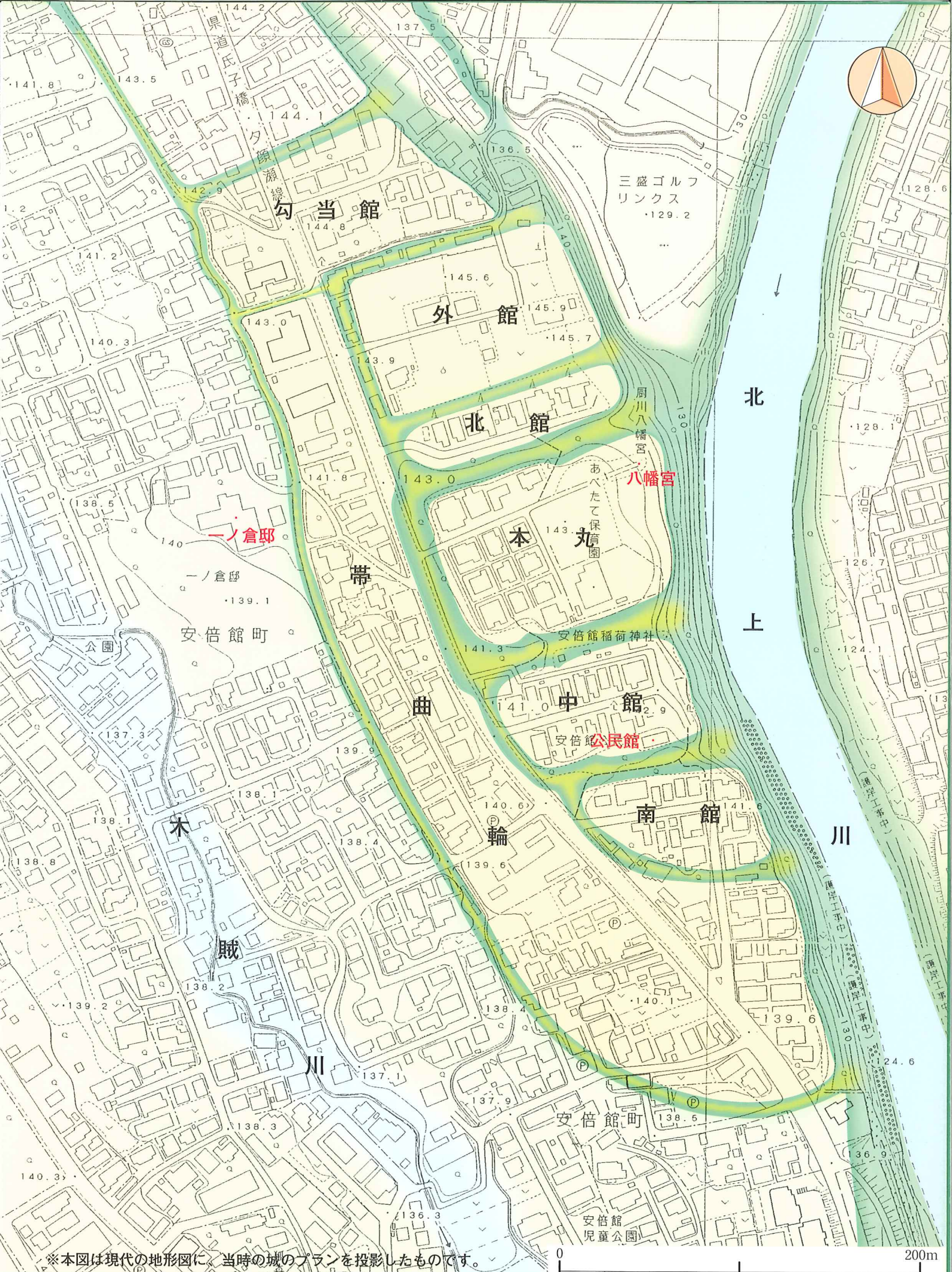
南館堀跡の発掘調査



本丸の竪穴建物跡



出土した陶磁器の破片



※本図は現代の地形図に、当時の城のプランを投影したものです。

### 安倍館遺跡・厨川城跡

# 厨川関係年表

時代	西暦	和暦	できごと
平安時代	1051	永承6	前九年合戦おこる 安倍頼時が陸奥守源頼義と衝突。鬼切部の合戦。
	1062	康平4	源頼義と清原武則ら、厨川柵、姫戸柵を攻め、安倍貞任(厨川次郎)を滅ぼす。
	1083	永保3	後三年合戦おこる 清原一族の内紛おこる。
	1087	寛治1	源義家、清原一族を滅ぼす。
	1126	大治1	藤原清衡が中尊寺金色堂を設立。
	1170	嘉応2	藤原秀衡陸奥鎮守府将軍となる。
	1189	文治5	奥州合戦 源頼朝、平泉藤原氏を滅ぼし、岩手郡厨川まで北上する。工藤行光岩手郡地頭となる。
	1190	建久1	この年、工藤小次郎行光が岩手山に登頂し、祭祀を執り行くと伝えられる。
鎌倉時代	1192	建久3	鎌倉幕府開府
	1200	正治2	鎌倉幕府が、奥羽両国は藤原秀衡、泰衡の先例にならい、治めるように命じる。
	1221	承久3	承久の乱
	1256	建長8	幕府が奥大道の夜討、強盗の取締りを岩手郡、和賀郡地頭などに命じる。
	1274	文永11	元寇(文永の役)
	1281	弘安4	元寇(弘安の役)
	1322	元亨2	津軽とエゾガ島(北海道)に内乱おこり、幕府対応に苦慮する。
室町時代	1333	元弘3	鎌倉幕府滅ぶ 北畠顕家が陸奥守となる。旧幕府軍と建武政権軍が津軽で交戦。
	1334	建武1・正慶3	南部帥行棟部に入る。
	1340	興国1・暦応1	厨川合戦で北朝勢大敗。南部政長が西根(雫石?)に要害を築く。
	1392	元中9・明德3	南北朝の合一 南部政光、八戸の根城に入る。
	1404	応永11	南部大膳が、福士左京太夫と福士治部少輔に不來方を任せる。
	1435	永享7	和賀・稗貫の大乱。南部遠州等が不來方城より出陣。(翌年まで)
	1467	応仁1	応仁の乱おこる
	1539	天文8	足利義晴、南部彦三郎に一字を与え、晴政と名乗らせる。
	1573	天正1	室町幕府滅ぶ 南部晴政が岩手郡、斯波郡に侵攻する。
	安土・桃山時代	1582	天正10
1588		天正16	南部信直、斯波氏を滅ぼす。
1590		天正18	小田原合戦 南部信直、前田利家軍に属し、小田原に参陣。豊臣秀吉、南部信直に本領安堵の朱印状を交付する。
1591		天正19	九戸合戦。浅野長政、信直に不來方への居城移転を奨める。
1592		天正20(文禄元)	朝鮮出兵 南部信直、肥前名護屋に出陣。南部領内の城割。不來方城、見前城ほか12城を残し、厨川城、乙部城、一方井城、雫石城ほか36城を取り壊す。
1597		慶長2	不來方新城(盛岡城)の築城に着手。
1598		慶長3	南部信直、秀吉の醍醐の花見に参加。盛岡築城許可(?)
1599		慶長4	釜津田基六が鹿妻穴堰の開削をはじめ。南部信直、福岡城(二戸市)にて死去。
1600		慶長5	関ヶ原の合戦 南部利直、徳川家康の命により、出羽最上で上杉勢と対陣。
江戸時代		1603	慶長8
	1609	慶長14	中津川上ノ橋をかける。(同16年中ノ橋、17年下ノ橋をかける)
	1615	元和1	南部利直、摂津茨木城を破却する。
	1636	寛永13	盛岡城本丸に落雷し炎上する。福岡城の古材で御新丸御殿を建てる。
	1668	寛文8	幕府巡検使の指示で、盛岡藩が栗谷川古城図を作成し、幕府に提出する。



〈周辺案内図〉